

2006年3月3日

組織の一部改正と人事異動のお知らせ

2006年4月1日付けにて、下記のとおり組織の一部改正と人事異動を行います。

記

1. 組織の一部改正

(1) 国内化粧品事業領域の再編

「太くて強いブランド」づくりとチャネル特性に応じた営業体制強化を図るため、国内の化粧品事業とトイレタリー事業を融合する。これにともない「化粧品事業部」の名称は解消し、国内化粧品事業として以下のとおり再編する。

- ① 事業全体の戦略・統括・サポート機能を集約し、「事業企画部」を新設する。「事業企画部」は、新国内化粧品事業の経営管理機能を担う「事業管理室」、媒体戦略や商品広報機能を含めたマーケティング戦略全般を担う「マーケティング戦略室」、営業統括業務と営業戦略を担当する「営業戦略室」、流通チャネル別の施策立案や売場開発など販売第一線向けの情報伝達全般を担当する「店頭企画室」の4つの室から構成する。
- ② マーケティング企画推進機能を商品カテゴリー毎に再編し、商品の開発からプロモーション計画、コミュニケーション戦略にいたるまで、担当カテゴリーの商品に関わるマーケティングの全てを一貫して担当するSBU制(Strategic Business Unit制)を導入する。ユニットの内訳は、「スキンケア」「メーキャップ」「ヘア」「ボディ・メンズ」「デパート・プレステージ」「化粧品専門店」「組織小売・敏感」「通販事業」の8つとし、それぞれのユニットの責任者であるブランドマネージャー(BM)は、担当するブランドの育成から売上・損益達成まで全ての責任と権限を負う。以上の再編により、これまで「化粧品事業部」傘下にあった「化粧品企画部」「マーケティング部」「営業推進部」、ならびに「(株)エフティ資生堂」傘下にあった「エフティ企画部」「マーケティング1部」「マーケティング2部」は解消する。
- ③ 本社営業部門を再編し、「専門店部」「デパート部」「組織流通部」「ホールセール部」の4部体制とする。これにより、「化粧品事業部」傘下にあった「チェーン部」「系列営業1部」「系列営業2部」、ならびに「(株)エフティ資生堂」傘下にあった「営業部」は解消する。
- ④ 複数の部門に分散していた営業に関わる研修・教育機能を「推販部」に一元化する。これにともない、「ビューティーコンサルタント研修」を担当していた「美容開発部」を解消する。

- ⑤ 以上の本社組織改正に伴い、関係会社組織を次のとおり改正する。(株)エフティ資生堂の営業機能を資生堂販売(株)に統合し、チャンネル別の営業体制へと再編する。具体的には、組織小売業を担当する営業本部を現行の 7 営業本部から全国 11 営業本部へと拡大し、現行支社は、沖縄支社を除き化粧品専門店営業に特化させる。これにより、現行の 64 支社は、全国 8 ブロックの新「支社」に分け、その傘下でそれぞれの地域に密着した営業活動を行う 59 の「支店」へと再編する。「沖縄支社」については現状の支社機能を維持し、ホールセールの営業機能を加えた体制とする。この結果、資生堂販売(株)の営業組織は、組織小売業を担当する全国合計 11 の「第 1 営業本部」「第 2 営業本部」、デパート営業を担当する全国 7 の「デパート営業本部」、「(株)エフティ資生堂」から移管する全国 6 の「ホールセール営業本部」、ならびに化粧品専門店営業を担当する全国 9「支社」59「支店」(沖縄支社含む)体制とする。

(2)ヘルスケア・ファインケミカル事業領域の再編

近年ますます高まる美と健康に関するニーズに化粧品と異なるアプローチで幅広く対応していくため、以下のとおり事業組織をチャンネル別に再編・新設する。

- ① ドラッグストア・専門店などの販売チャンネルへの対応強化を目的に、薬品から美容食品までを一元的に開発・営業する組織として「ヘルスケア事業部」を新設する。「ヘルスケア事業部」は、美容食品事業を担当している「H&BC 事業部」、ならびに医療機関向け医薬品開発を除く「医薬品事業部」の機能を統合して組織する。「ヘルスケア事業部」の傘下には、美容食品の販売会社である「資生堂ビューティーフーズ(株)」、ならびに医薬品の販売会社である「資生堂薬品(株)」を置き、これにより「H&BC 事業部」および「医薬品事業部」は解消する。
- ② 製薬企業、医師、研究機関などに対応する事業組織として、現在の「ファインケミカル事業部」を母体に、「フロンティアサイエンス事業部」を新設する。「フロンティアサイエンス事業部」には、「ファインケミカル事業」のほかに、「医薬品事業」の医療機関向け医薬品開発機能、ならびに美容皮膚医療を推進する「H&BC 研究センター 新規事業開発室」の機能を統合する。これにより「ファインケミカル事業部」は解消する。

(3)国際事業領域の再編

中国事業の成長加速を狙いに、「中国戦略部」を「国際事業部」傘下から独立させ、「中国事業部」を新設する。これにより「中国戦略部」は解消する。

(4)研究開発領域の再編

美容情報やトレンド情報などのソフト開発力の強化、ならびソフト情報とマーケティングとの連携強化を狙いに、以下とおり組織を新設・再編する。

- ① 「ビューティーサイエンス研究所」を発展解消して新たに「ビューティーソリューション開発センター」として再編し、ソフト情報開発、コミュニケーション開発、シンクタンク機能などの強化を図る。また、「ビューティーソリューション開発センター」内には傘下の研究所として「ビューティークリエイション研究所」を位置づけるとともに、ソーシャルビューティーケア活動などを推進する「新ビューティーケア開発推進室」を置く。

- ② 「H&BC 研究センター」を解消し、「ヘルスケア事業部」ならびに「フロンティアサイエンス事業部」に係わる研究開発機能を集約した「H&BC 開発センター」を新設する。
- ③ 「製品開発センター」の位置づけをより明確にするため、部門名称を「化粧品開発センター」に改称する。
- ④ 「素材・薬剤開発センター」の機能を「ライフサイエンス研究センター」ならびに「マテリアルサイエンス研究センター」に移管し、「素材・薬剤開発センター」は解消する。
- ⑤ 「H&BC 研究センター」内に置いていた食品・医薬品に関する分析・保証機能を「安全性・分析センター」に移管するとともに、「安全性・分析センター」を「品質保証センター」に改称する。
- ⑥ 本社事業部門のマーケティング機能と研究開発部門とのコーディネート機能を担う「ソリューション推進部」を新設する。

(5) 生産事業領域の再編

本社生産事業機能の生産性・効率性向上を狙いに、以下のとおり再編を実施する。

- ① 「生産部」を母体に、現「生産企画部」の経営計画立案・管理機能、ならびに「生産管理部」の新製品原価管理、製品配置・移管機能を加え、新たに「生産企画部」として再編する。これにより「生産部」は解消する。
- ② これまで「生産企画部」で担っていた生産計画立案機能、ならびに「生産管理部」の情報システム開発運営機能を担当する部門として「生産計画部」を新設する。これにより「生産管理部」は解消する。

(6) スタッフ領域の再編

- ① CSR を経営の重要な要素として経営戦略とより一体化して取り組んでいくため、「CSR 部」の機能を「経営企画部」の中に取り込む。これにより「CSR 部」は解消し、社会貢献、環境、男女共同参画の諸活動は、それぞれ実務担当部門である「企業文化部」「技術部」「人事部」に移管する。
- ② 国内化粧品事業における SBU 制の導入に伴い、「宣伝部」の媒体戦略・媒体買い付け機能、ならびに「広報部」の商品広報機能を「事業企画部 マーケティング戦略室」に移管する。これにより、「宣伝部 宣伝戦略室」を解消し、「宣伝部」は「宣伝制作部」に改称する。
- ③ 国内外のロジスティクス機能を一元化し、グループでのロジスティクス戦略立案強化を狙いに、「ロジスティクス部」と「国際物流部」を統合して新「ロジスティクス部」とする。これにより「国際物流部」は解消する。

2. 人事異動

(1) 株式会社資生堂

▼人事部長(経営企画部部長)高重三雄▼ロジスティクス部長(化粧品事業部化粧品企画部長兼資生堂フィティット(株)取締役社長)岡崎和夫▼生産企画部長(生産部長)小高正士▼宣伝制作部長(広報部長)一橋忠▼広報部長(資生堂販売(株)北東京支社長)柴田和久▼ビューティーソリューション開発センター所長(お客さまセンター所長)三浦志郎▼お客さまセンター所長(お客さまセンターWeb推進室長)高山靖子▼生産計画部長(生産企画部次長)矢野崇▼特許部長(素材・薬剤開発センター長)福井寛▼技術部長(ファインケミカル事業部長)岩井恒彦▼フロンティアサイエンス事業部長(H&BC 研究センター医薬品研究所長)坂本敦男▼R&D 企画部長(製品開発センター長)西山聖二▼組織流通部長(化粧品事業部系列営業1部長兼系列営業2部長)花田浩三▼事業企画部長(化粧品事業部マーケティング部長)平田賢一▼ホールセール部長(化粧品事業部チェーン部長)吉成哲朗▼中国事業部長(国際事業部中国戦略部長)高森竜臣▼スキンケアユニットブランドマネージャー(化粧品事業部マーケティング部課長)並河伸夫▼メーキャップユニットブランドマネージャー(化粧品事業部マーケティング部課長)下村敦▼ヘアユニットブランドマネージャー(株)エフティ資生堂マーケティング1部長)石川由紀子▼ボディー・メンズユニットブランドマネージャー(株)エフティ資生堂マーケティング2部長)石川浩之▼デパート・プレステージユニットブランドマネージャー(化粧品事業部マーケティング部課長)池田透▼化粧品専門店ユニットブランドマネージャー(化粧品事業部マーケティング部課長)北村正順▼組織小売・敏感ユニットブランドマネージャー(化粧品事業部系列営業 1 部課長)糯田耕造▼通販事業ユニットブランドマネージャー(化粧品事業部マーケティング部事業開発室長)山口るみ子▼H&BC 開発センター長(マテリアルサイエンス研究センター長)梁木利男▼マテリアルサイエンス研究センター長(マテリアルサイエンス研究センター物性研究所長)木村朝▼化粧品開発センター長(資生堂(中国)研究開発中心有限公司董事兼総経理)島谷庸一▼品質保証センター長(安全性・分析センター長)河野善行▼ソリューション推進部長(化粧品事業部マーケティング部次長)高須恵美子▼大阪工場長(大阪工場長兼舞鶴工場長)杉山康夫

(2) 関係会社

▼(株)エトバス取締役社長(生産管理部長)水町清治▼資生堂(中国)研究開発中心有限公司董事兼総経理(R&D 企画部課長)石舘周三▼(株)ディシラ取締役社長(宣伝部宣伝戦略室長)林高広▼資生堂アステック(株)取締役社長(資生堂アステック(株)取締役業務推進本部長)川島幸男

※ なお、関係会社の役員異動については、各関係会社の株主総会ならびに株主総会終了後の取締役会において決定します。

以上